

平成13年度 建設技術報告会 実 施 報 告 書

平成13年11月

北陸地方建設事業推進協議会
建設技術報告会実行委員会

目 次

1. 「平成13年度 建設技術報告会」実施計画	1
2. 実施内容	2
3. 準備及び運営	5
4. 広報	11
5. アンケート	17
6. 開催状況写真	27

1. 「平成13年度 建設技術報告会」実施計画

1) 開催目的

北陸地方における建設事業の円滑な推進を図るため、官公庁及び民間の建設会社において、新たに研究開発された新技術、新工法等を報告することにより、研究開発技術の普及を図る事を目的に開催する。

2) 名称

「平成13年度 建設技術報告会」

3) 開催日時

平成13年10月11日(木)	10:00～17:00
開会挨拶	10:00～10:10
記念講演	10:10～11:10
技術報告	11:20～16:50
閉会挨拶	16:50～17:00

4) 会場

新潟ユニゾンプラザ 新潟市上所2-2-2
(第一会場：多目的ホール 定員410名、第二会場：大研修室 定員230名 計640名)

5) 実施体制

この報告会は、北陸地方建設事業推進協議会の活動の一環として、関係諸団体で構成した「平成13年度北陸地方建設事業推進協議会『建設技術報告会』実行委員会(実行委員長：北陸技術事務所長)」の主催で実施した。

(構成団体)

- ・北陸地方整備局
- ・新潟県
- ・富山県
- ・石川県
- ・日本道路公団北陸支社
- ・(社)新潟県建設業協会
- ・(社)富山県建設業協会
- ・(社)石川県建設業協会
- ・(社)日本土木工業協会北陸支部
- ・(社)日本道路建設業協会北陸支部
- ・(社)日本建設機械化協会北陸支部
- ・北陸土木コンクリート製品技術協会
- ・(社)プレストレスト・コンクリート建設業協会北陸支部
- ・北陸PC防雪技術協会
- ・北陸建設リサイクル協会
- ・新潟県融雪技術協会
- ・(財)新潟県建設技術センター
- ・北陸地質調査業協会
- ・(社)建設コンサルタンツ協会北陸支部
- ・(社)北陸建設弘済会

6) 報告技術のテーマ

- ①雪に強い地域づくり・・・「克雪対策技術」、「冬期道路交通の安全確保」等
- ②良いものを安く・・・「コスト縮減技術」、「省力化技術」等
- ③自然災害からの安全確保・・・「土石流などの防災技術」、「災害対策技術」、「危機管理技術」等
- ④環境の保全と創造・・・「リサイクル技術」、「省エネルギー技術」、「環境整備技術」等
- ⑤ゆとりと福祉・・・「情報化技術」等

2. 実施内容

1) 報告技術の概要

報告技術のテーマ

①雪に強い地域づくり	5題
②良いものを安く	9題
③自然災害からの安全確保	5題
④環境の保全と創造	13題
⑤ゆとりと福祉	1題

協会名	報文題名	テーマ	会社名	発表者名	会場
日本道路公団 北陸支社	高速道路における凍結抑制舗装の効果	①	JH日本道路公団 金沢技術事務所	平 俊勝	第一
(社)新潟県建設業協会	定量散布装置を用いた飛砂防止工法施工報告	④	(株)福田組	浅妻 貴夫	第二
(社)日本土木工業協会	小倉ダムにおける脱水ケーキのリサイクルシステム	④	(株)フジタ 北陸支店	福岡 仁	第二
	環境にやさしいハーモニーグラウト工法について	④	大木建設(株)	三橋 光治	第二
	擬岩パネル景観工法について	④	大木建設(株)	浅井 涌太郎	第二
	鳥屋野潟排水機場におけるTRD工施工実績	②	鹿島建設 北陸支店	松川 晃之	第二
	建設コストの低減と耐震性能の向上を目的とした新杭頭接合工法の研究開発	②	清水建設(株) 技術研究所	青木 孝	第二
	石油汚染土壌浄化技術	④	大成建設(株)	氏家 正人	第二
	自然環境を利用した法面保護工	②	鉄建建設(株) 技術研究所	丸尾 茂樹	第二
	デジタルカメラとパソコンによる3次元精密写真測量システム	③	飛島建設(株) 技術研究所	阿保 寿郎	第二
	河川湖沼の水質浄化システム「リバ・フレッシュ」	④	(株)間組	野村 和弘	第二
	管中混合固化処理による浚渫土の有効利用方法	④	(株)本間組	岩田 秀樹	第二
	(社)日本道路建設業協会	凍結抑制機能を有した排水性舗装の施工事例	①	大林道路(株) 北信越支店	佐藤 清二
弾性タイプ低騒音舗装の開発		④	大成ロテック(株) 技術研究所	藤田 広志	第一
高耐久性明色アスファルト混合物		①	(株)渡辺組 技術研究所	渡辺 忠	第一
速度抑制舗装「スピードセーブ工法」		④	日本舗道(株) 北信越支店	渡辺 徹	第一
ウッドパーミアコン舗装の研究開発と施工例		④	佐藤道路(株) 砺波営業所	西野 昭正	第一
砕石マスチック混合物による鋼床版舗装		②	北川ヒューテック(株)	谷口 克也	第一
廃プラスチック類を再利用した景観及び雑草抑制舗装		④	(株)加賀田組	有田 正己	第一
TOAのじょく層工法		②	東亜道路工業(株)	嶋 智彦	第一
特殊箇所へ適用したSMAの施工例		①	福田道路(株)	宮下 知治	第一
アーバンライト		④	世紀東急工業(株)	長田 正睦	第一
(社)日本建設機械化協会	グレーダのエッジ取り替え作業の改善	②	(株)加賀田組	五十嵐 孝	第一
	ウェザ・シェルター(Gタイプ)使用報告	①	(株)福田組 新潟支店	小林 正志	第二
	低騒音(排水性)舗装機能回復車の新型洗浄システムとその効果	④	酒井重工業(株)	岸 幸雄	第一
	無人化施工技術	③	コマツ	伊藤 喜一	第二
	河川管理施設の遠隔集中管理システムについて	⑤	(株)荏原製作所	沼野 研一郎	第二
	門柱レスゲート設備	②	豊国工業(株)	下見 広司	第二
	SR合成起伏堰	②	飯田鉄工(株)	北浦 善樹	第二
	合成床版(SCデッキ)の開発	②	川田工業(株)	山岸 武志	第一
北陸PC防雪技術協会	PC覆工の主梁落下防止装置の改良	③	北陸PC防雪技術協会	清水 順作	第一
北陸地質調査業協会	光ファイバー土石流検知システムの開発	③	(株)興和	五十嵐 敏幸	第二

2. 実施内容

協会名	報文題名	テーマ	会社名	発表者名	会場
(社)建設コンサルタント協会	橋梁健全度診断システム	③	(株)国土開発センター	大谷 直生	第一
8団体	33技術				

2) 平成13年度 建設技術報告会聴講者(実績)

機関名		H13想定 聴講者数	聴講希望 受付人数	平成13年度実績			
				第一会場	第二会場	計	
国土交通省	北陸地方整備局	100	68	46	29	75	83
	他地方整備局		7	4	4	8	
その他省庁・公団		—	5	1	1		2
自治体関係	新潟県	50	39	17	17	34	54
	新潟県 市町村		27	12	8	20	
	富山県	6	5	3	2	5	5
	富山県 市町村		0	0	0	0	
	石川県	12	14	8	6	14	14
	石川県 市町村		0	0	0	0	
	長野県	5	11	7	4		11
	福島県	—	2	2	0		2
岐阜県	2	0	0	0		0	
日本道路公団	日本道路公団 北陸支社	2	5	4	0		4
小計		177	183	104	71		175
協会等：主催	(社)新潟県建設業協会	41	69	21	32		53
	(社)富山県建設業協会	1	19	9	10		19
	(社)石川県建設業協会	3	0	1	0		1
	(社)日本土木工業協会	47	63	9	47		56
	(社)日本道路建設業協会	92	109	74	5		79
	(社)日本建設機械化協会	39	39	12	17		29
	北陸土木コンクリート製品技術協会	18	9	5	4		9
	(社)プレストレスト・コンクリート建設業協会	17	19	12	1		13
	北陸PC防雪技術協会	10	2	2	0		2
	北陸建設リサイクル協会	1	0	0	0		0
	新潟県融雪技術協会	11	11	6	3		9
	(財)新潟県建設技術センター	8	7	5	2		7
	北陸地質調査業協会	13	28	4	5		9
	(社)建設コンサルタント協会	41	2	2	0		2
	(社)北陸建設弘済会	14	7	4	2		6
小計		356	384	166	128		294
協会等：その他	(社)日本埋立浚渫協会	10	21	2	13		15
	(社)建設電機技術協会	1	0	0	0		0
	(財)道路保全技術センター	2	5	4	0		4
	(財)先端建設技術センター	1	0	0	0		0
	(財)日本建設情報総合センター	1	0	1	0		1
	(社)雪センター	1	1	1	0		1
	(財)経済調査会 北陸支部	0	2	1	1		2
	一般(加入協会不明を含む)	17	52	38	13		51
小計		33	81	47	27		74
学校		—	3	0	3		3
報道		—	0	5	0		5
発表者		33	33	16	17		33
小計		33	36	21	20		41
(官 公 庁 合計)		177	183	104	71		175
(民 間 合計)		422	501	234	175		409
聴講者合計		599	684	338	246		584
スタッフ	官	19	30	36			46
	民	10	10	10			
合計	官	187	213	211			630
	民	432	511	419			
	計	619	724	630			

注) 1. 会場別入場者は実際の来場者受付時に「事前の聴講希望」により振り分けた人数である。

2. 定員 第一会場410名 第二会場230人
3. 630人=受付人数584人+スタッフ46人
4. 参考 H12年度合計 550人

3) プログラム

記念講演者プロフィール

上山良子 (うえやまりようこ)

長岡造形大学・大学院環境デザイン学科教授
株式会社上山良子ランドスケープデザイン研究所長

講演内容「美しい庭園島に向けて ～人のために何ができるか～」
かつて美しかった我が国の風景。どうしたらその土地に相応しい景観を創ることができるか？ 場づくりの手法の紹介。

- 専門分野・・・ランドスケープアーキテクチャ
現在の研究課題・・・新風土性、Art & Landscape
学歴・・・上智大学英語学科卒業、米国カリフォルニア大学環境デザイン学部
ランドスケープアーキテクチャー修士課程
プロジェクト・・・東京湾臨海道路換気所立坑景観検討委員会基本計画策定
長岡平和の森公園ランドスケープデザイン
ヘルシンキ市トゥーロンラッティ地区ランドスケープ競技設計招待参加
柏崎刈羽地域「(仮称)環境共生公園」
芝三丁目東地区ガイドライン及びランドスケープデザイン
(他に北陸地域の道路景観、地域づくり、環境に関する検討委員等を務める)
委員・・・元建設省建築審議会
賞・・・都市景観大賞(芝浦シーバンス)
日本建築美術工芸協会賞(長岡平和の森公園)
パーチェス賞(ヘルシンキ招待コンペ)
主な著書・・・共著「環境をデザインする」、「地域の価値を創る」

見て、ふれて、知る 新技術

けんせつフェアin北陸2001 開催のご案内

※展示、実演！産・学・官の102機関334技術におよぶ最新の建設技術
※建設技術報告会報告技術も展示

テーマ

- 雪に強い地域づくり
- 良いものを安く
- 自然災害からの安全確保
- 環境の保全と創造
- ゆとりと福祉

日時：10月12日(金) 10:00～16:00

10月13日(土) 9:30～16:00

会場：新潟市産業振興センター前特設会場
(新潟市鐘木)

交通：車 新潟中央ICより新潟県総合スタジアム方面へ
新潟市産業振興センター前信号を右折
バス 開催中は、会場と新潟駅南口間のシャトルバスを9:10より運行

平成13年度 北陸地方建設事業推進協議会

建設技術報告会

建設分野の新技术・新工法の報告会

プログラム

テーマ

- 雪に強い地域づくり
- 良いものを安く
- 自然災害からの安全確保
- 環境の保全と創造
- ゆとりと福祉

- 10:00 ● 開会式
- 10:10 ● 記念講演
「美しい庭園島に向けて
～人のために何ができるか～」
上山良子 (うえやまりようこ)
長岡造形大学大学院教授
(上山良子ランドスケープデザイン研究所長)
- 11:20 ● 技術報告(報文発表)
- 16:50 ● 閉会式

平成13年 10月11日(木)

開催時間：10:00～17:00
開催場所：新潟ユニゾンプラザ 新潟市上所2-2-2



主催/北陸地方建設事業推進協議会「建設技術報告会」実行委員会

国土交通省北陸地方整備局、新潟県、富山県、石川県、日本道路公団北陸支社、(社)新潟県建設業協会、(社)富山県建設業協会、(社)石川県建設業協会、(社)日本土木工業協会北陸支部、(社)日本道路建設業協会北陸支部、(社)日本建設機械化協会北陸支部、北陸土木コンクリート製品技術協会、(社)プレストレスト・コンクリート建設業協会北陸支部、北陸PC防雪技術協会、北陸建設リサイクル協会、新潟県融雪技術協会、(財)新潟県建設技術センター、北陸地質調査業協会、(社)建設コンサルタント協会北陸支部、(社)北陸建設経済会

お問合せ 事務局：国土交通省北陸地方整備局 北陸技術事務所 TEL. 025-231-1281 【ホームページ】http://www.hrr.mlit.go.jp/hokugi/

Program

第一会場 -- 多目的ホール --

10:00 挨拶 北陸地方整備局 企画部 技術調整管理官 柳沢 今朝次郎

10:10~11:10 記念講演 「美しい庭園島に向けて～人のために何が出来るか～」
長岡造形大学大学院教授
(上山良子ランドスケープデザイン研究所長) 上山 良子

<技術報告>

第一会場 -- 多目的ホール --

11:20~12:25

- テマ② TOAのじょく層工法 鴨 智彦 (東亜道路工業(株)北陸支社)
- テマ② 砕石マスチック混合物による鋼床版舗装 谷口 克也 (北川ヒューテック(株)技術研究所)
- テマ② グレーダのエッジ取り替え作業の改善 五十嵐 孝 (株加賀田組)
- テマ② 合成床版(SCデッキ)の開発 山岸 武志 (川田工業(株))

12:25~13:10 昼 食

13:10~14:15

- テマ③ PC覆工の主梁落下防止装置の改良 清水 順作 (北陸PC防雪技術協会)
- テマ③ 構梁健全度診断システム 大谷 直生 (株国土開発センター)
- テマ④ アーバンライト 長田 正睦 (世紀東急工業(株))
- テマ④ ウッドパーミアコン舗装の研究開発と施工例 西野 昭正 (佐藤道路(株)北陸支店)

14:15~14:25 休 憩

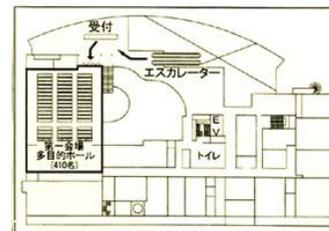
14:25~15:30

- テマ④ 鹿プラスチック類を再利用した景観及び雑草抑制舗装 有田 正己 (株加賀田組)
- テマ④ 低騒音(排水性)舗装機能回復車の新型洗浄システムとその効果 岸 幸雄 (酒井重工業(株)技術研究所)
- テマ④ 弾性タイプ低騒音舗装の開発 藤田 広志 (大成ロテック(株)技術研究所)
- テマ④ 速度抑制舗装「スピードセーブ工法」 渡辺 徹 (日本舗道(株)北信越支店)

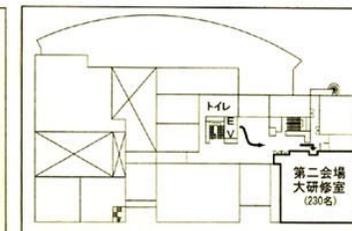
15:30~16:35

- テマ① 特殊箇所へ適用したSMAの施工例 伊東 憲英 (福田道路(株)技術研究所)
- テマ① 高耐久性白色アスファルト混合物 渡辺 忠 (株渡辺組技術研究所)
- テマ① 高速道路における凍結抑制舗装の効果 平 俊勝 (日本道路公団金沢技術事務所)
- テマ① 凍結抑制機能を有した排水性舗装の施工事例 佐藤 清二 (大林道路(株)北信越支店)

16:50 閉 会 北陸地方建設事業推進協議会「建設技術報告会」実行委員会委員長
(北陸地方整備局 北陸技術事務所長) 吉田 絃一



第一会場(多目的ホール)2階



第二会場(大研修室)4階

<技術報告>

第二会場 -- 大研修室 --

11:20~12:25

- テマ④ 定量散布装置を用いた飛砂防止工法施工報告 浅妻 貴夫 (株福田組)
- テマ④ ハーモニークラウト工法について 三橋 光治 (大木建設(株)東京支店)
- テマ④ 石油汚染土壌浄化技術 氏家 正人 (大成建設(株))
- テマ④ 擬岩パネル景観工法について 浅井浦太郎 (大木建設(株)東京支店)

12:25~13:10 昼 食

13:10~14:15

- テマ④ 管中混合固化処理による浚渫土の有効利用方法 岩田 秀樹 (株本間組)
- テマ④ 小倉ダムにおける脱水ケーキのリサイクルシステム 福岡 仁 (株フジタ北陸支店)
- テマ④ 河川湖沼の水質浄化システム「リバ・フレッシュ」 野村 和弘 (株間組)
- テマ⑤ 河川管理施設の遠隔集中管理システムについて 沼野研一郎 (株荏原製作所)

14:15~14:25 休 憩

14:25~15:30

- テマ① ウェザ・シェルター(Gタイプ)使用報告 小林 正志 (株福田組新潟支店)
- テマ③ 無人化施工技術 伊藤 喜一 (コマツ)
- テマ③ 光ファイバー土流検知システムの開発 五十嵐敏幸 (株興和)
- テマ③ デジタルカメラとパノコンによる3次元精密写真測量システム 阿保 寿郎 (飛鳥建設(株)技術研究所)

15:30~16:50

- テマ② SR合成起伏場 北浦 善樹 (飯田鉄工(株))
- テマ② 鳥屋野湯排水機場におけるTRD工施工実績 松川 晃之 (株鹿島建設 北陸支店)
- テマ② 建設コストの低減と耐震性能の向上を目的とした新杭頭接合工法の研究開発 田 蔵 隆 (清水建設(株)技術研究所)
- テマ② 門柱レスゲート設備 下見 広司 (豊国工業(株))
- テマ② 自然環境を利用した法面保護工法 丸尾 茂樹 (株鉄建建設(株)技術研究所)

技術報告テーマ

- ① 雪に強い地域づくり
- ② 良いものを安く
- ③ 自然災害からの安全確保
- ④ 環境の保全と創造
- ⑤ ゆとりと福祉

3. 準備及び運営

1) 実行委員会名簿

役員	所属	役職	氏名
委員長	北陸地方整備局 北陸技術事務所	事務所長	吉田 紘一
委員	北陸地方整備局 企画部	技術管理課長補佐	春木 芳男
委員・ 会計監査	新潟県 土木部 技術管理課	土木工事検査監	(前任) 生駒 繁男 田辺 疆
委員	富山県 土木部 企画用地課	副主幹・技術管理係長	西村 志津夫
委員	石川県 土木部 技術管理課	課参事兼課長補佐	(前任) 高橋 吉隆 本田 和彦
委員	日本道路公団北陸支社 建設部 工務課	課長代理	梁川 俊晃
委員	(社)新潟県建設業協会	技術部長 契約制度室長	(前任) 小倉 捷平 圓山 文史朗
委員	(社)富山県建設業協会	常務理事	小島 孝光
委員	(社)石川県建設業協会	常務理事	金谷 進
委員	(社)日本土木工業協会北陸支部	技術委員長	野間 一三
委員	(社)日本道路建設業協会北陸支部	幹事長兼企画委員長 幹事長	(前任) 竹内 保則 喜綿 洋二
委員	(社)日本建設機械化協会北陸支部	事務局長 総務委員	(前任) 吉川 進 内山 和夫
委員	北陸土木コンクリート製品技術協会	専務理事	柴田 勝太
委員	(社)プレストレスト・コンクリート建設業協会北陸支部	事務局長	滝沢 俊次
委員	北陸PC防雪技術協会	事務局長	(前任) 保坂 俊次 村田 佳久
委員	北陸建設リサイクル協会	業務安全委員長	舟田 敏
委員	新潟県融雪技術協会	理事 技術委員長	(前任) 桑原 剛 小松崎 通雄
委員	(財)新潟県建設技術センター	参事	吉田 敦
委員	北陸地質調査業協会	技術委員 事務局長	(前任) 針生 真也 島田 勝英
委員	(社)建設コンサルタンツ協会北陸支部	広報委員長	五十嵐 英輝
委員	(社)北陸建設弘済会	理事・事業調査室長	内山 宏文

注)1. 実行委員会構成員はH13. 8. 27現在

2. (前任)はH13. 2. 19第1回実行委員会以降の異動者

2) 主な経緯

会議名	日程	場所	内容
北陸地方建設事業推進協議会運営委員会	H12年10月17日(火)	万代荘	「平成13年度建設技術報告会」をH13年10月11日に実施決定。
第一回実行委員会	H13年 2月19日(月)	新潟県トラック総合会館	実施計画(案)の承認 予算(案)の承認 報文募集開始
第二回実行委員会	H13年 7月 5日(木)	白山会館	報告技術の選定について承認 報告会運営計画について承認 広報計画について承認
「平成13年度建設技術報告会」開催	H13年10月11日(木)	新潟ユニゾンプラザ	
第三回実行委員会	H13年11月15日(木)	白山会館	実施状況報告 会計決算報告 会計監査報告

3) 当日の運営体制

スタッフの役割	業務内容	国土交通省	新潟県	新潟県建協	土工協	道建協	機械協
受付	聴講者及び発表者の受付を行う。		2	1	3	3	3
発表会司会	進行シナリオ等に基づき、発表の進行を行う。	5					
時間管理係	発表時間の管理を行う。		2				
スライド OHP 係 パソコン	発表時の使用器材の管理及びトラブル対応等	3					
試写係	スライド発表者の試写室及びフィルムセットの補助等	1					
マイク受渡し係	質疑応答時、質問者へマイクの受渡しを行う。	4	(1)				
会場照明係	会場照度の調整及び質問者へのマイク受渡し。	2					
開会式・記念講演 司会	司会進行を行う。	(1)					
講演者等案内 マスコミ対応	講演者等を控室へ案内する。 マスコミ対応は適宜対応する。	1					
連絡調整係	受付・会場等の連絡調整	2					
会場準備	会場設備の移動及び連絡	9					
接遇係	控室で講演者等の接遇	1					
写真係	開催状況等の写真撮影。	2					
駐車場係	駐車場の誘導。	2					
計		32	4		10		
合計					46		

注1) ()は他の役割と重複

2) 上記数値は途中交代した員数を含む。

4) 運営スケジュール

事項	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
実行委員会	推進協運営委員会 ○ (10/7)				(2/19) ①					(7/5) ②				(11/15) ③	
報文募集・申込み (概要版) 《各機関毎》					(3/1)	(4/27)									
発表課題選定 (発注者ニーズアンケート)								(5/18)	(6/6)						
採否通知・原稿提出 (本原稿)										(7/10)	(8/6)				
報文集編集印刷											(8/6)	(9/25)	報文集発送 (10/31)		
ポスター印刷										(8/8)	(8/20)				
聴講者募集 《各機関毎》											(8/16)	(9/28)			
月刊建設等投稿												(10/5) ○			
記者クラブ・業界紙 投込み												(10/5) ○			
報告会開催												(10/11) ◎			
決定事項等 実行委員会						<ul style="list-style-type: none"> ・実施計画(案)の承認 ・予算(案)の承認 ・募集要領(案)の承認 					<ul style="list-style-type: none"> ・ポスター(案)の承認 ・発注者ニーズアンケート結果 ・報文選定 			<ul style="list-style-type: none"> ・決算報告 ・実施状況報告 	

10. スケジュール

【建設技術報告会】

月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
事項															
実行委員会					(2/19) ①					(7/5) ②					③
報文募集・申込み (概要版) 《各機関毎》						—————									
発表課題選定 (発注者ニースアンケート)								—————							
採否通知・ 本原稿作成依頼									—————					
報文集編集印刷											—————	—————			
ポスター印刷										—————					
聴講者募集 《各機関毎》											8/20	9/28			
月刊建設等投稿 記者クラブ・業界紙・投込み											○				
記念講演依頼							—————								
報告会開催													(10/11) ◎		
決定事項等 実行委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・実施計画(案)の承認 ・予算(案)の承認 ・募集要領(案)の承認 					<ul style="list-style-type: none"> ・ポスター(案)の承認 ・発注者ニースアンケート結果 ・報文選定 					<ul style="list-style-type: none"> ・決算報告 ・実施状況報告 				

【けんせつフェアin北陸2001】

月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
事項															
北陸地方建設事業 推進協議会運営委員会	(10/17) ○														
実行委員会				(1/23) ①					② → ②(7/5)					③	
幹事会					(2/19) ①				(6/11) ②	③ → ③				④	
準備会			○(12/8)												
出展代表者会議等・ 出展要領説明							○(4/10)					○			
出展募集 ・出展申込書受付			(各団体意向把握)			—————									
会場レイアウト等の 計画・調整				(事前調整).....			—————							
ポスター・チラシ印刷										—————	8/17				
月刊誌・ 記者クラブ等投稿										月刊誌	月刊誌	記者クラブ等	新聞広告		
ガイドブック作成									原稿依頼	編集・印刷					
会場設営														
けんせつフェア開催													◎ 12, 13		
決定事項等 実行委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・委員会規約 ・基本計画 					<ul style="list-style-type: none"> ・出展概要承認 ・配置計画の承認 ・広報計画承認 ・セミナー承認 ・開催時の実施体制等の承認 					<ul style="list-style-type: none"> ・実施状況報告 ・決算報告 				
幹事会	<ul style="list-style-type: none"> ・出展要領・募集(案) 					<ul style="list-style-type: none"> ・出展概要(案) ・配置計画(案) ・広報計画(案) ・セミナー(案) ・開催時の実施体制等 					<ul style="list-style-type: none"> ・実施方針、最終体制 				
準備会	<ul style="list-style-type: none"> ・仮開催基本計画の策定 														
出展者会議等	<ul style="list-style-type: none"> ・出展要領の説明 														

10. スケジュール

技術開発相談室検討会議															(10/10)○報告会前日活用検討会 (10/11)○報告会当日活用検討会 (10/12)○フェア活用検討会議
-------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	---

北陸技術事務所

平成13年度 北陸地方建設事業推進協議会 建設技術報告会 - Microsoft Internet Explorer

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) 移動(Q) お気に入り(A) ヘルプ(H)

平成13年度
建設技術報告会
建設分野の新技术・新工法の報告会

トップページ プログラム 記念講演 技術報告(第1) 技術報告(第2) 主催

北陸地方において活用・普及が期待される新技术に関する最新の施工例等の情報を行政及び民間の技術者等に広く紹介することにより、新技术の活用・普及促進を図ることを目的に開催されます。

聴講無料

開催日 / 平成13年10月11日(木)
時間 / 10:00~17:00
会場 / 新潟ユソンプラザ 新潟市上野2-2-2 […> 会場周辺マップを表示](#)

技術報告タイトル一覧

第一会場	第二会場
F04のじょく層工法	定置帆布装置を用いた飛砂防止工法施工報告
砕石マッシュク混合物による鋼床版舗装	ハーモニークラウト工法について
グレーダのエッジ取り替え作業の改善	石油汚染土浄化技術
合成床版(SOデッキ)の開発	縦岩パネル景観工法について
P〇覆工の主梁下防止装置の改良	管中混合固化処理による浚渫土の有効利用方法
橋梁健全度診断システム	小倉ダムにおける観水ケーキのリサイクルシステム
アーバンライト	河川湖沼の水質浄化システム「リバ・フレッシュ」
ウッドパーミアコン舗装の研究開発と施工例	河川管理施設の遠隔集中管理システムについて
廃プラスチック類を再利用した景観及び雑草抑制舗装	ウェザ・シェルター(Gタイプ)使用報告
低騒音(排水性)舗装機能回復車の新型洗浄システムとその効果	無人化施工技術
弾性タイプ低騒音舗装の開発	光ファイバー土流検知システムの開発
遠慮抑制舗装「スピードセーブ工法」	デジタルカメラとパソコンによる3次元精密写真測量システム
特殊箇所へ適用したSMAの施工例	SR合成起伏機
高耐久性明色アスファルト混合物	鳥屋野湯排水機場におけるTRD工法施工実績
高速道路における凍結抑制舗装の効果	建設コストの低減と耐震性能の向上を目的とした新杭頭接合工法の研究開発
凍結抑制機能を有した排水性舗装の施工事例	門柱レスゲート設備
	自然環境を利用した法面保護工法

聴講

- 聴講は無料ですが、申込みが必要となります。
下記聴講申込み先にファックスで、住所、氏名、年令、職業、希望会場の別(第一会場・第二会場)を記入の上、お申し込みください。
- 募集期間
平成13年8月20日(月)~9月28日(金)
※ただし、定員になり次第締め切らせていただきます。
(第一会場:定員410名、第二会場:定員230名)
- 問い合わせ・聴講申込み先
〒950-1101 新潟市山田2310-5
国土交通省 北陸地方整備局 北陸技術事務所内
北陸地方建設事業推進協議会「建設技術報告会」実行委員会事務局
TEL: 025-231-9930
FAX: 025-231-1283

インターネットゾーン

4. 広報

1) 広報実施内容

手	法	依頼時期	広報実績	備考
1	ポスター	2,600部	8/21(火)発送	関係機関 縦=593mm 横=420mm (A2版)
2	月刊誌等	北陸建設技術 のだよ* 建設ほくりく のぼり	9月号掲載 9月号掲載 9,11月号掲載	
3	記者クラブ投げ込み	新潟・富山・石川・福井・山形・秋田・岩手・青森・宮城・山梨・長野・岐阜・愛知・三重・滋賀・京都・大阪・兵庫・奈良・和歌山・徳島・香川・高松・愛媛・高知・福岡	10/5(金)	
4	業界紙投げ込み	日刊建設新聞 建設新聞 建設経済新聞 建設産業新聞 建設現場新聞 建設現場情報 建設現場ニュース 建設現場レポート 建設現場ウォッチ 建設現場ダイジェスト 建設現場マガジン 建設現場ニュース 建設現場レポート 建設現場ウォッチ 建設現場ダイジェスト 建設現場マガジン	// // // // // // //	10/12,16号掲載 10/12号掲載
5	ホームページ	北陸技術事務所		9/25~10/11

2) 機関誌・新聞記事等

○月刊誌

北陸地方建設事業推進協議会
「北陸の建設技術 9月号」

(社)日本道路建設業協会
「北陸だより 9月号」

お知らせ

平成13年度 北陸地方建設事業推進協議会
「建設技術報告会」のご案内

～建設分野の新技术・新工法の報告会～

本報告会は、北陸地方において活用・普及が期待される新技术に関する最新の施工事例等の情報を行政及び民間の技術者等に広く紹介することにより、新技术の活用・普及促進を図ることを目的として開催するものです。
本報告会は平成7年から開催され今回で第6回目となります。皆様のご参加をお待ちしています。

1. 開催日時 平成13年10月11日(木) 10時00分～17時00分
●記念講演 10月10日～11日
「美しい環境と向き合える一人の力に何ができるか」
上山 貞子(うへま まさこ)氏
長岡造形大学大学院教授(上山貞子ランドスケープデザイン研究所)

●報告会 11:20～16:50

2. 開催場所 「新潟ユニオンプラザ」 住所:新潟市上野2-2-2
電話:055-281-5511

3. 報告内容
下記のテーマにそって、33題の報告を行います。
① 雪に強い地域づくり(空雪対策、冬期道路の安全確保に関する新技术等)
② 良いものを安く(コスト削減、省力化に関する新技术等)
③ 自然災害からの安全確保(地震・土石流などの防災に関する新技术等)
④ 環境の保全と創造(建設副産物・リサイクルに関する新技术等)
⑤ ゆとりと福祉(情報化に関する新技术等)

4. 聴講者申込(参加費無料)
聴講者募集期間は、平成13年8月20日(月)～9月28日(金)です。
主催各機関に、希望する会場をお申し込み下さい。(第一会場 定員400人、第二会場 定員200人)但し定員になり次第締め切ります。

5. 主催 北陸地方建設事業推進協議会「建設技術報告会」実行委員会
6. 問い合わせ先 国土交通省 北陸地方整備局 北陸技術事務所
(担当)建設専門官 比企 TEL:05(231)1281 FAX:05(231)1283




北陸の建設技術 2001.9

けんせつフェア及び建設技術発表会のご案内

「あなたと創る新世紀」をキャッチフレーズとする「けんせつフェアin北陸2001」が10月12日(金)13日(土)、新潟市産業振興センター前特設会場で開催することとなった。
道建協北陸支部会員の内、次の17社が出展することとして準備中である。

1	前田道路株北陸支店	10	鹿島道路株北陸支店
2	東亜道路工業株北陸支社	11	日本舗道株北信越支店
3	日本道路株北信越支店	12	北川ヒューテック株
4	大林道路株北信越支店	13	本間道路株
5	常盤工業株関東支店新潟営業所	14	世紀東急工業株北陸支店
6	㈱ガイアートマガイ北陸支店	15	飛鳥東急工業株北信越支店
7	佐藤道路株北陸支店	16	横浜建設新潟営業所
8	大成ロテック株北陸支社	17	㈱加賀田組
9	福田道路株新潟本店		

今年の展示テーマ

展示テーマ

- 雪に強い地域づくり
路面凍結防止剤技術
積雪地域における各種設備・計測技術
冬期施工が可能な技術
- 自然災害からの安全確保
耐震・免震対策に関する技術
土石流発生検知システムの技術
落石対策に関する技術
- 良いものを安く
生産性向上技術
コスト削減・省力化技術
プレキャストコンクリートを用いた施工技術
- ゆとりと福祉
情報化・バリアフリーに関する新技术
生活者社会資本整備技術
生活者安全健康確保技術
- 環境の保全と創造
建設副産物のリサイクル技術
省エネルギーに関する技術
景観の保全・緑化技術

北陸建設弘済会
「ほっと*ほくりく 9月号」

「建設技術報告会」開催のお知らせ

建設技術報告会は、官公庁および民間の建設会社などにおいて新たに研究開発した新技术、新工法などを報告することにより、研究開発技術の普及を図ることを目的に毎年開催しています。

今回の報告会は長岡造形大学の上山貞子さんによる記念講演会と33題の新技术報告を予定していますので、聴講申し込みの上、ご参加ください。

●開催日/平成13年10月11日(木)

●開催場所/ユニオンプラザ(新潟市上野2-2-2)

●聴講申し込み/平成13年9月28日(金)までに下記にお問い合わせください。
「建設技術報告会実行委員会」事務局(北陸地方整備局北陸技術事務所)
TEL:05(231)9930 FAX:05(231)1283



(社)日本土木工業協会
「ゆう 11月号」

(社)日本道路建設業協会
「北陸だより 11月号」

「建設技術報告会」の紹介

開催日:平成13年10月11日(木)
会場:新潟ユニオンプラザ
主催:北陸地方建設事業推進協議会
「建設技術報告会」実行委員会
(土工協・北陸支部も構成機関です)
目的:北陸地方において活用・普及が期待される新技術に関する最新の施工例等の情報を行政及び民間の技術者等に広く紹介することにより、新技術の活用・普及促進を図る。

平成13年度は、応募総数34件中、当支部から次のとおり9社、10課題を発表しました。

会社名	報文題名
株 フジタ	小倉ダムにおける脱水ケーキのリサイクルシステム
大木建設株	環境にやさしいハイモニーグラウト工法 凝岩パネル養護工法
鹿島建設株	鳥屋野潟排水機場におけるTRD施工実績
清水建設株	建設コストの低減と耐震性能の向上を目指した新鉄鋼接合工法
大成建設株	石油汚染土浄化技術
鉄建建設株	自然環境を利用した法面保護工
飛鳥建設株	デジタルカメラとパソコンによる3次元精密写真測量システム
株 ハザマ	河川湖沼の水質浄化システム「リバフレッシュ」
株 本間組	管中混合固化処理による液溜土の有効利用方法



道建協関係

建設技術報告会の報告

平成13年度「建設技術報告会」が9月11日新潟ユニオンプラザで開催された。建設フェアの前日である。

記念講演は「美しい北陸に向けて一人のために何ができるか」と題して長岡造形大学大学院教授の上山良子先生が講演された。



報文発表は、第1会場、第2会場に別れ、道建協会員は第1会場で報文発表した。10報文で、それぞれパワーポイントを活用した発表で、判りやすく立案を発表であった。

この報告会は、毎年実施されるもので「北陸地方における建設事業の円滑な推進を図るため、官公庁及び民間の建設会社において、新たに研究開発された新技術、新工法等を報告することにより、研究開発技術の普及を図る事」を目的としています。

報文題名	協会名	会社名	発表者名
TOAのじょく層工法	社日本道路建設業協会	東海道路工業株北陸支社	嶋 智彦
砕石マスタック混合物による鋼床取壊法	社日本道路建設業協会	北川ビニールテクニカル研究所	谷口 克也
グレーダのエッジ取り替え作業の改善	社日本建設機械化協会	株加賀田組	五十嵐 孝
合成床版 (SCデッキ) の閉塞	社日本建設機械化協会	川田工業株	山岸 武志
PC覆工の主要落下防止装置の改良	北陸PC防雪技術協会	北陸PC防雪技術協会	清水 順作
傾斜健全度診断システム	社建設コンサルタント協会	株国土開発センター	大谷 直生
アーバンライト	社日本道路建設業協会	世紀東急工業株	長田 正隆
ウッドバーミアコン舗装の研究開発と施工例	社日本道路建設業協会	佐藤道路株北陸支店	西野 昭正
廃プラスチック類を再利用した景観及び雑草抑制舗装	社日本道路建設業協会	株加賀田組	有田 正巳
低騒音(排水性)舗装機器回収車の新選定システムとその効果	社日本建設機械化協会	酒井重工業株技術研究所	岸 幸雄
弾性タイヤ低騒音舗装の開発	社日本道路建設業協会	大成ロテック株技術研究所	藤田 広志
凍害抑制舗装「スピードヒーパ」工法	社日本道路建設業協会	日本舗道株北信越支店	渡辺 徹
特殊箇所への適用したSMAの施工例	社日本道路建設業協会	福田道路株技術研究所	伊東 憲史
高耐久型白色アスファルト混合物	社日本道路建設業協会	株渡辺技術研究所	渡辺 忠
高速道路における凍結抑制舗装の効果	日本道路公団	日本道路公団金沢技術事務所	平 俊勝
凍結抑制機能を有した排水性舗装の施工事例	社日本道路建設業協会	大林道路株北信越支店	佐藤 清二




5. アンケート

1) アンケート内容

「平成13年度 建設技術報告会」アンケート
平成13年度「建設技術報告会」実行委員会

※回答は、記入型の設問以外は記号を○で囲んでください。

図1.

①あなたの性別は。 イ. 男 ロ. 女

②あなたの年齢は。 イ. 19歳以下 ロ. 20歳代 ハ. 30歳代
 二. 40歳代 ホ. 50歳代 ヘ. 60歳以上

③あなたの職業・職種は。 イ. 国土交通省 ロ. 県 ハ. 市町村
 二. 公団 ホ. イ～ニに属さない官公庁（機関名：）
 ヘ. 建設関連の会社（技術職） ト. 建設関連の会社（事務職）
 チ. 建設関連の団体 リ. その他（）

④あなたは主にどの分野の仕事にたずさわっていますか。
 イ. 河川 ロ. 道路 ハ. 港湾空港 ニ. 密続
 ホ. 共通（） ヘ. その他（）

⑤どこから来られましたか。 イ. 新潟市内 ロ. 新潟市を除く新潟県内
 ハ. 富山県 二. 石川県 ホ. その他（）

⑥この報告会を何で知りましたか。
 イ. ポスター・チラシ ロ. 新聞 ハ. ホームページ
 二. 協会からの案内 ホ. 国土交通省・県からの案内
 ヘ. 学校 ト. くちこみ チ. その他（）

図2.

①建設事業への新技術導入の必要性についてどう思われますか。
 イ. 必要性を感じる ロ. 多少感じるが急務の問題ではない ハ. 特に問題意識はない

②上記①で「イ. 必要性を感じる」または「ロ. 多少感じるが急務の問題ではない」に○をされた方はどの分野に必要性を感じますか（複数回答可）。
 イ. 雪に強い地域づくり・・・「克雪対策技術」、「冬期道路交通の安全確保」等
 ロ. 良いものを安く・・・「コスト削減技術」、「省力化技術」等
 ハ. 自然災害からの安全確保・・・「土石流などからの防災技術」、「災害対策技術」、「危機管理技術」等
 二. 環境の保全と創造・・・「リサイクル技術」、「省エネルギー技術」、「環境整備技術」等
 ホ. ゆとりと福祉・・・「生活者の安全健康技術」、「情報化技術」等
 ヘ. その他（）

③新技術導入のネックとなっているものがあるとするば、それは何ですか。
 イ. 経費的なもの ロ. 積算体系等制度的なもの ハ. 新技術に関する情報不足
 二. その他（）

（裏面に続きます）

表

④この報告会で参考になった、または導入したいと思った新技術の分野は何ですか（複数回答可）。
 イ. 雪に強い地域づくり・・・「克雪対策技術」、「冬期道路交通の安全確保」等
 ロ. 良いものを安く・・・「コスト削減技術」、「省力化技術」等
 ハ. 自然災害からの安全確保・・・「土石流などからの防災技術」、「災害対策技術」、「危機管理技術」等
 二. 環境の保全と創造・・・「リサイクル技術」、「省エネルギー技術」、「環境整備技術」等
 ホ. ゆとりと福祉・・・「生活者の安全健康技術」、「情報化技術」等
 ヘ. その他（）

図3.

①今後もこの報告会があった方が良いと思いますか。
 イ. 思う ロ. 思わない ハ. 内容による

②上記①で「ロ. 思わない」に○をされた方はその理由を、「ハ. 内容による」に○をされた方はどのような内容を望まれるのかをご記入下さい。

③開催時期はいつが良いと思いますか。
 イ. 今の時期が良い ロ. その他（月頃）

④開催地はどこが良いと思いますか。
 イ. 今回の開催地で良い ロ. 新潟県、富山県、石川県で順番で開催 ハ. その他（）

図4. この報告会の報告形式や会場設置についてご意見がありましたらご記入ください。

図5. その他、この報告会について感じたことがありましたらご記入ください。

図6.

①明日、明後日の(10月12、13日)に「けんせつフェアin北陸2001」が開催されることをご存じですか。
 イ. はい ロ. いいえ

②「けんせつフェアin北陸2001」を見学されますか。
 イ. はい ロ. いいえ

ご協力ありがとうございました。
 この用紙は第一会場、第二会場前のアンケート回収箱に投函して下さい。

裏

2) アンケート回収率

(1) アンケート回答数

	官公庁	民間	計
アンケート配布数	175	409	584
回答数	71	123	194
回答率(%)	40.6%	30.1%	33.2%

6. 開催状況写真



開会挨拶 北陸地方整備局 企画部 技術調整管理官



記念講演 長岡造形大学大学院教授 上山 良子
(上山良子ランドスケープデザイン研究所長)



第一会場発表風景



第一会場聴講風景



第一会場質疑・応答



第二会場発表風景



第二会場聴講風景



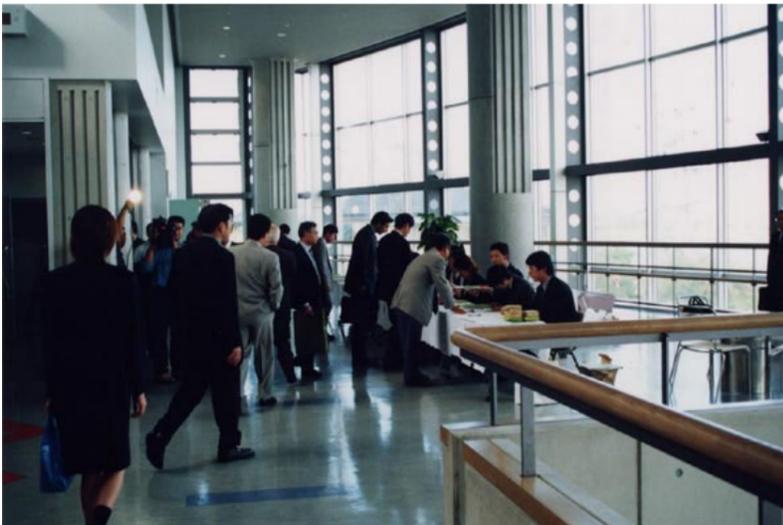
第二会場質疑・応答



第二会場中継状況



閉会挨拶 北陸地方建設事業推進協議会
「建設技術報告会」実行委員長



受付状況



2F アンケート回収状況



駐車場状況



4F アンケート回収状況



パネル展示



W/Cメータ展示・実演